

メガホン

2022 SPRING Vol. 11
発行：富岡町図書館

特集／あつまれ、字びの森！

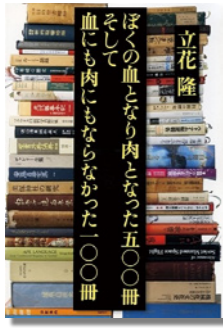


ON Stage!!
500席を備えた大ホールは、活動の発表や催しに使用できます。秋には芸能祭が開かれ、太鼓や日舞、バンド演奏など、地域のみなさんによる日頃の練習の成果が披露されました。

今回のテーマ 好きを突き詰めた 図書館員のおすすめ本

好きこそ物の上手なれ！何かに夢中になったとき、ものすごい力が出せたりします。今回はそんなエネルギーが詰まった本を紹介します。

ぼくの血となり肉となった五〇〇冊
そして血にも肉にもならなかった一〇〇冊
立花隆／著
(文藝春秋、2007年)



昨年亡くなった著者は様々な分野でベストセラーを出し、「知の巨人」として知られる。本書は、相当数の本を読み込んできたであろうその一部を紹介した読書案内。考えること・人間に対する興味が尽きなかったことが伺える幅の広さに驚くばかりだ。

昆虫は美味しい！
内山昭一／著
(新潮社、2019年)



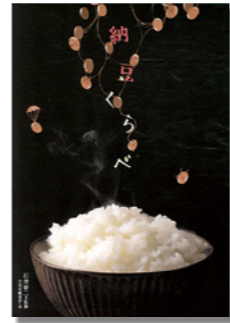
近年、昆虫食が注目されています。著者は20年以上前から昆虫を採り、調理して食べていたそうです。身近にいる虫を美味しく食べる調理法や味が紹介されています。昆虫は、数年後にはもっと身近な食料になるのかもしれない。

素晴らしい洞窟探検の世界
吉田勝次／著
(筑摩書房、2017年)



田村市滝根町にある入水鍾乳洞の探検コースをご存知ですか？コースの途中で明かりを消してみると、観光地なのに「戻れるのだろうか」と思うほどの闇に包まれます。そんな闇の中危険と隣り合わせの未踏洞窟に魅せられ、挑み続ける探検家のお話です。

納豆くらべ
石井泰二／監修、文苑堂編集部／編
(文苑堂、2021年)



朝ごはんのお供として定番の納豆。実は、いろんなメーカーから販売されていることを知っていますか？本書の監修者の石井さんは3,500種類以上の納豆を食したそうです。食べ比べに挑戦してみるのも面白そうです。

タネの未来
僕が15歳でタネの会社を起業したわけ
小林宙／著
(家の光協会、2019年)



作物の栽培に必要な「タネ」。その中でも、特に日本全国の伝統野菜のタネを守りたい！その思いから、弱冠15歳の著者が起業するまでの道のりを綴った一冊です。こんな野菜があったのかという発見もありますよ。

食いしん坊発明家
小泉武夫／著
(新潮社、2020年)



食べるのが大好きで、寝ても覚めても食べ物のことばかり考えていた少年が大人になり、食の発明家となる自伝的小説です。食いしん坊ならではの発想に驚きます。著者は福島県出身の発酵学者です。馴染みある地名も登場し、最後まで楽しく読める一冊です。

ちゅうかのれきし〈別巻〉
遠藤祝穂／著
(遠藤祝穂、2020年)



手岡の由来は朝賀？！そんな名前の変遷が興味深い。思わず笑ってしまう土地言葉集も掲載されています。文章のいたるところに散りばめられた、ふるさと「ちゅうかの里」への深い愛を感じます。後世に語り継ぎたい一冊です。



〒979-1151 双葉郡富岡町大字本岡字王塚 622-1
電話：0240-21-3665 FAX：0240-23-5225

蔵書検索は
こちらから



開館時間 火～日(祝日、休日を除く) 午前10時～午後6時 休館日 毎週月曜日、祝日、月末館内整理日
★ 読みたい本が図書館にないときは、予約・リクエストができます。カウンターに直接またはお電話でお問い合わせください。

「やってみたい!」を、はじめよう。

富岡町図書館がある文化交流センター「学びの森」は、町民のみなさんの生涯学習を支える複合施設です。多彩な設備と図書館資料が、「休日をより充実させたい」「新しいことをはじめたい」という気持ちを後押しします。



赤ちゃんから大人まで！好奇心くすぐる体験を見つけに来てください。

図書館

司書が絵本の読み聞かせを行う **おはなし会** や **映画作品の上映会** など、子どもも大人も楽しめる行事を開催しています。図書館の裏側を覗くことができる **司書体験** も行っています。

☎ 0240-21-3665



学びの森

スタインウェイ社製のピアノ を大ホールで弾くことができるイベントを開催しています。**小ホール** には全身鏡やピアノが備え付けてあり、ダンスや歌の練習などに利用できます。開放的な **森のテラス** では、屋外イベントも企画できますよ。

☎ 0240-22-2626



とみおかアーカイブ・ミュージアム

学芸員の手ほどきを受けながら海水から塩を作ったり、考古資料の実物を触ったり、くずし字を解読したり… **五感を使った体験** が盛りだくさんです。普段は立ち入ることができない博物館のバックヤードを巡るツアーも行っています。

☎ 0240-25-8644



工作室



陶芸教室に参加している
和賀 薫さん

図書館で教室のチラシを見て参加しました。震災前、体験に参加したことはありませんでしたが、今回のように定期的に参加するのは初めてです。一番のお気に入りは最初に作った蕎麦猪口。どんな色になるか焼き上がりを想像しながら作ります。

実際に家で使えるものが出て上がるので楽しいです。焼き釜の見学や、作品の展示会などの機会が増えるといいと思います。

自分のスタイルにあわせて「学びの森」を利用している皆さんに話を聞きました。生活を彩る図書館の本と一緒に紹介します。



はじめての陶芸
成美堂出版編集部/編
(成美堂出版、2002年)

大会議室

体操教室に参加している
渡辺 忠道さん

さくらスポーツクラブ主催の「体操教室」と「健康カレッジ」に参加しています。もうすぐ92歳になりますが、自分でできることは自分でやるのがモットー！自分の体力にあった運動と、みんなに会って楽しくおしゃべりすること、大きな声で笑うことが何よりも健康のもとです。



みんなのストレッチ
フィジカルトレーナー協会/編
(講談社、2018年)

#MYまな森ライフ

子どもの頃にクラシックのレコードを聴き、オーケストラに憧れて小学生でバイオリンを始めました。

転勤で富岡町に越して来てからは、学びの森で毎週末に練習しています。家から近く、無料で利用できるのはありがたいです。難曲に挑戦して弾けるようになったときは嬉しいですね。同じように楽器を演奏している方がいたら、一緒に演奏してみたいです。



最高の音を引き出す弦楽器
マイスターのメンテナンス
園田信博/著
(誠文堂新光社、2017年)

第4研修室

バイオリンの練習に来ている
飯田 俊也さん

震災前、友人に誘われて富岡町内でお茶を習い始めました。今では指導できる資格を得て、学びの森で茶道教室を開いています。私が師事したお茶の先生がこの施設の設計に関わっていて、自治体の施設にはめずらしく茶室があることは魅力だと思います。何かと世間が騒がしい中、お茶を立てている間は、日本の伝統文化を感じ、心落ち着く時間です。



お茶をはじめてみよう
ようこそ茶の湯の世界へ
淡交社編集部/編
(淡交社、2007年)



茶道教室を開いている
若菜会・菅野 宗里さん

茶室